

[カトリック教会のカテキズム]

p.567～569

1905 人間の社会的本性ゆえに、個々人の善は必然的に共通善と結ばれています。他方、共通善は個人を考慮することなしには決定されません。

1906 共通善とは「集団とその構成員とが、より完全に、いっそう容易に自己の完成に達することができるような社会生活の諸条件の総体」である、と理解すべきです。共通善はあらゆる人の生活にかかわります。一人ひとりの側にはもとより、権威を行使する人々の側にはいっそうの賢明さが必要です。共通善には三つの本質的要素があります。

1907 第一に、個人をその人であるがゆえに尊重することです。共通善を実現するために、公権は個人が持っている基本的で奪いえない人権を尊重しなければなりません。社会は、その構成員の一人ひとりがそれぞれの召命を実現できるようにしなければなりません。共通善はすべて、人間の召命の実現に欠くことのできない本来の自由、たとえば「正しい良心に従って行動する権利、プライバシーを守る権利、宗教の分野をも含めて正当な自由を享有する」権利を行使する諸条件を整えることを要求します。

1908 第二に、共通善は集団の社会的安寧と発展とを求めます。すべての社会的任務を要約すれば、発展ということばで表現することができます。いうまでもなく、異なる個々の利害を共通善に応じて判定するのは権限者の務めです。しかし、権威者は、それぞれの人が真に人間らしい生活を送るために必要なもの、たとえば食料、衣服、健康、仕事、教育や教養、適正な報道、家庭を作る権利などを手に入れやすくなるように図らなければなりません。

1909 第三に、共通善には平和、すなわち、正しい秩序の持続や保全という内容が含まれています。したがって、権威者は適正な手段を用いて、社会とその構成員との安全を図らなければなりません。共通善こそが、個人および集団の合法的防衛権の土台になるものなのです。

1910 各共同体にはそれぞれに認められた共通善がありますが、共通善を完全に実現するのは政治共同体です。市民社会やその住民、および中間団体の共通善を擁護し、促進させるのは国家の務めです。

1911 人間の相互依存は強まり、しだいに世界全体へと広がっています。本来平等の尊厳を持つ人々が一つの人類家族を形づくっているのですから、普遍的共通善を認めなければなりません。この普遍的共通善を実現するためには、国際的組織を作り、「人々の種々の必要を満たすようにしなければなりません。この必要とは、社会生活の領域においては食料、健康、教育……であり、ある所に起こ

りうる特殊な状況においては……全世界に離散した難民の救済、移住者とその家族に対する援助など……です」。

1912 共通善とは、つねに個人の向上を目指すものです。「事物の秩序は人間の秩序に従属すべきであって、その反対であってはなりません」<sup>31</sup>。人間の秩序は真理を土台として、正義の上に建てられ、愛によって生かされるのです。

## 第二バチカン公会議 [現代世界憲章]

### 共通善の促進

26 相互依存が日増しに緊密になり、徐々に世界全体に広がっていくことによって、共通善——すなわち集団と個々の成員とが、より豊かに、より容易に自己完成を達成できるような社会生活の諸条件の総体は、今日ますます世界的な広がりをもつものとなり、その結果、全人類にかかわる権利と義務を含むものとなっている。こうして、それぞれの集団は、他の諸集団の必要と正当な要求、さらには人類全家族の共通善を考慮しなければならない。

しかし同時に、人格に固有の優れた尊厳についての自覚も増している。実際、人格は事物の世界にまさり、その権利と義務は普遍的であり侵すべからざるものである。したがって人間が、真に人間らしい生活を送るために必要なすべてのものを獲得できるようにしなければならない。それらは、たとえば食糧、衣服、住居、生活形態を自由に選び、家庭を作る権利、教育に関する権利、労働の権利、名誉と尊敬に関する権利、適正な報道に関する権利、自己の正しい良心に従って行動する権利、私生活を守る権利、宗教的なことに関する正当な自由に対する権利などである。

したがって、社会秩序とその発展は、つねに人格の福祉を優先させるべきである。物事の秩序は人格の秩序に従属すべきであって、その反対であってはならないからである。主ご自身、安息日は人のために定められたのであって、人が安息日のためにあるのではないとあって、このことを示唆した。社会秩序はたえず進歩しなければならない。それは真理に基づき、正義の上に打ち立てられ、愛によって生かされるべきであり、自由の中にますます人間にふさわしい均衡のとれたものとならなければならない。こうした目的を達成するためには、考え方を改め、広範にわたる社会の変革に取りかからなければならない。

感嘆すべき摂理をもって時の動きを導き地の面を新たにする神の霊は、この進歩とともにある。福音のパン種は、人間の心の中に尊厳に対する抗いえない要求を起こしてきたし、また起こしている。